



## 地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.22

### 地域連携病院⑱「徳島健生病院」

今回は、患者さんとともに安全・安心で信頼される医療を実践する徳島健生病院を紹介します。

#### ■ 組合員と共に作る病院として

徳島健生病院は「自分たちの病院を作ろう」という地域住民の呼びかけにより設立されました。「患者さんの人権を大切に」という理念を掲げており、経済的に医療を受けることが困難な方に対しての無料低額診療や、医療ソーシャルワーカー(MSW)による医療相談支援を行っています。

地域住民との交流を大切に、夏祭りやクリスマス会などのイベント開催、青空健康チェックを行っています。また、患者会では病気と向き合い、互いに知識を高めています。



↑夏祭りの様子

#### ■ 患者さん1人を丸ごと診る医療

徳島健生病院では、患者さんを急性期から在宅まで診療する体制を整えています。特に若

手医師の育成に力を入れており、患者数は大病院と比べて多くはないけれど、患者さん1人で様々な病気を抱えていることもあるため、「トータルで診察する力」を養っています。また、三好市井川町にある健生西部診療所ではじん肺や振動病など以前は徳島市内まで出てくる必要のあった職業病の診察を行うなど、へき地医療の拠点となっています。

平成26年9月に回復期リハビリテーション病棟を12床増床し、徳島大学病院からは脳卒中や骨折の患者さんや、独り暮らしなどが理由で在宅に移行するのが難しい患者さんも紹介されています。

徳島健生病院では、多くの病院スタッフが携わり患者さんが安心して安全な在宅ケアを受けられるよう計画を立てています。



↑患者会の様子

#### 「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しを目指して、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

#### 問い合わせは

徳島健生病院  
徳島市下助任町4-9  
Tel.088-622-7771

■ 説明は  
(中央)佐々木 清美 院長  
(後列左から)  
地域連携相談室  
内田 淳子MSW、  
木下 敬子副看護部長、  
塚 玲子主任MSW

